

令和3年度

利尻富士町教育委員会点検・評価報告書
【令和2年度分】

令和3年12月

利尻富士町教育委員会

1 はじめに

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和2年度の教育行政事務の管理執行状況について点検・評価を行い、報告書を議会に提出するとともに、今後の効果的な教育行政の推進と町民皆様への説明責任を果たしていくために、その結果を公表するものです。

(2) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、教育委員会の活動状況等のほかに、「教育行政執行方針」の施策に基づく次の主要な事務事業の実施状況について対象としました。

■学校教育の推進について

- ① 確かな学力の育成をめざす教育の推進
- ② 豊かな心と体を育む教育の推進
- ③ 信頼される学校づくりの推進
- ④ 安心・安全な教育環境の整備と支援の推進

■社会教育の推進について

- ① 生涯学習の推進
- ② 青少年の健全育成
- ③ 文化・芸術活動の推進及び文化財の保存と活用の推進
- ④ スポーツ活動の推進

(3) 点検・評価の方法

「教育委員会の活動状況」等については、教育委員会会議の開催状況や会議にかけられた議案及び委員が出席した学校行事等の点検を行いました。

「主要な施策の点検・評価」については、「令和2年度教育行政執行方針」に掲げられた事業の内容・取組状況、自己評価及び今後の課題について点検・評価を行いました。

2 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会会議の開催及び審議状況

令和2年度における利尻富士町教育委員会の会議は11回開催され、次のとおり審議等を行いました。

開催日	出席委員数	付議案件等
第6回 4月3日(金)	4名	その他 ①学級編成(4月1日現在)について ②教育委員会事務局組織図について ③教職員名簿について
第7回 4月23日(木)	4名	協議事項 「新型コロナウイルス感染症」に係る学校行事等の対応について その他 ①産前産後休暇・育児休暇者について ②全国学力・学習状況調査について ③北海道市町村教育委員会研修会の中止について ④「新型コロナウイルス感染症」に関する影響調査について
第8回 4月28日(火)	3名	報告事項 ・「新型コロナウイルス感染症」に係る第2回学校再開に向けた対応策検討会議について ・利尻富士町育英資金運営審議会委員の委嘱について 議案第14号 専決処分(利尻富士町社会教育委員会委員の委嘱)の承認を求めることについて 議案第15号 専決処分(利尻富士町スポーツ推進委員の委嘱)の承認を求めることについて 議案第16号 専決処分(利尻富士町文化財専門委員の委嘱)の承認を求めることについて その他 ①各行事への参加について
第9回 5月25日(月)	4名	報告事項 ・「新型コロナウイルス感染症」に係る第3回学校再開に向けた対応策検討会議について
第10回 6月15日(月)	4名	議案第17号 専決処分(令和元年度利尻富士町一般会計歳入歳出教育費補正予算)の承認を求めることについて 議案第18号 令和2年度利尻富士町一般会計歳入歳出教育費補正予算について その他 ①教育委員会所管建設事業契約状況について

開催日	出席委員数	付議案件等
第11回 8月26日(水)	4名	議案第19号 令和3年度使用小・中学校教科用図書の採択について その他 ①令和2年度宗谷管内市町村教育委員研修会の中止について ②利尻富士町小中学校児童生徒在学者調(8月24日現在)について ③令和2年度全国学力・学習状況調査の実施について ④鴛泊中学校熱中症事案の経過報告について ⑤教育委員会学校訪問について ⑥教育委員会所管建設事業契約状況について
第12回 9月16日(水)	4名	議案第20号 利尻富士町立小中学校修学旅行引率経費交付要綱の制定について 議案第21号 修学旅行実施基準の一部改正について 議案第22号 令和2年度利尻富士町一般会計歳入歳出教育費補正予算について 議案第23号 専決処分(利尻富士町学校運営協議会委員の委嘱)の承認を求めることについて 議案第24号 専決処分(学校職員の任免)の承認を求めることについて
第13回 11月9日(月)	3名	議案第25号 専決処分(利尻富士町教育支援委員会委員の委嘱)の承認を求めることについて 議案第26号 専決処分(利尻富士町生涯学習推進計画策定委員の委嘱)の承認を求めることについて 議案第27号 利尻富士町生涯学習推進計画の策定について その他 ①教育長・教育委員名簿(R2.11.7現在)について ②利尻富士町小中学校児童生徒在学者調(R2.10.2現在)について ③産前産後休暇・育児休暇者について ④コロナ対策について ⑤小中一貫教育について
第14回 12月4日(金)	4名	議案第28号 専決処分(令和2年度利尻富士町一般会計歳入歳出教育費補正予算)の承認を求めることについて 議案第29号 令和2年度利尻富士町一般会計歳入歳出教育費補正予算について 議案第30号 利尻富士町教育委員会点検・評価報告書について その他 ①令和4年利尻富士町成人式について

開催日	出席委員数	付議案件等
		②宗谷管内校長公募について
第1回 3月1日(月)	4名	議案第1号 専決処分(学校職員の任免)の承認を求めることについて 議案第2号 令和2年度利尻富士町一般会計歳入歳出教育費補正予算について 議案第3号 令和3年度利尻富士町教育行政執行方針について 議案第4号 令和3年度利尻富士町一般会計歳入歳出教育費予算について 議案第5号 令和3年度利尻富士町通学自動車の利用者認定について 要望第1号 北海道利尻高等学校要望書について その他 ①令和3年度学級編成について ②卒業式、入学式について
第2回 3月26日(金)	3名	議案第6号 令和3年度利尻富士町通学自動車の利用者認定(追加)について 議案第7号 教育委員会事務局職員の任免について 議案第8号 学校職員の任免について その他 ①令和3年度学級編成について ②生徒指導事案について ③小中一貫教育について

(2) 教育委員会会議以外の活動状況

利尻富士町教育委員会委員は、次のとおり出席しました。

※ 教育長を除く

期 日	内 容	開催場所	出席委員
4月 3日	利尻富士町教職員着任式	利尻富士町役場	佐藤、山本、寺島、山澤
6月15日	教育委員・学校長懇談会	利尻富士町役場	佐藤、山本、寺島、山澤
9月15日	教育委員学校訪問	鬼脇地区小中学校	佐藤、山本、寺島、山澤
9月16日	教育委員学校訪問	駕泊地区小中学校	佐藤、山本、寺島、山澤
10月23日	北海道利尻高等学校道德教育研究協議会	利尻高校	佐藤、山本、寺島、山澤
12月 4日	学校給食組合教育委員会	利尻富士町役場	佐藤、山本
1月 4日	成人式	総合交流促進施設「りぶら」	佐藤、山本、寺島
2月 9日	管内教委連教育長部会研修会 (web)	利尻富士町役場	山本、寺島
3月 1日	総合教育会議	利尻富士町役場	佐藤、山本、寺島、山澤
3月26日	利尻富士町育英資金運営審議会	利尻富士町役場	山本
3月26日	利尻富士町教職員離任式	利尻富士町役場	佐藤、寺島、山澤

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
<p>○コミュニケーション能力を育む教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際理解教育及び外国語教育の充実 <p>○特別支援教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の全校的な支援体制の整備 <p>・「利尻富士町特別支援教育連携協議会」との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末を活用した家庭学習の充実 ・学びを止めない、学びの保障の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・A L T（外国語指導助手）の継続配置 <ul style="list-style-type: none"> ・鴛泊小学校（2学級）、利尻小学校（3→2学級） 鴛泊中学校（1学級）設置 ・特別支援教育支援員の配置（鴛小3人、利小1人） ・管内的な行事や交流活動への参加 （新型コロナウイルス感染症の影響により中止） <ul style="list-style-type: none"> ・教育講演会の開催等 （新型コロナウイルス感染症の影響により中止） 	<ul style="list-style-type: none"> ・G I G Aスクール構想により整備した一人一台端末を活用し、家庭への持ち帰りによる家庭学習の充実が図られており、学習習慣の定着化に繋がっている。 ・A I アプリ等の学習支援ソフトの導入により、更なる学力向上策の検討が必要である。 <ul style="list-style-type: none"> ・A L Tの配置により、英語学習指導の充実が図られている。今後もグローバル社会に対応すべくA L Tを活用した「外国語授業の充実」「コミュニケーション能力の向上」に努める必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・全校的な支援体制の充実が図られている。今後も教職員の専門性の向上を図り、家庭・地域・関係団体と連携し、一人ひとりの教育的ニーズに対応できるよう、特別支援教育を推進する必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・広く地域の方に特別支援教育の理解促進を図るため、教育講演会等が実施されており、今後も継続した取組みが求められる。

② 豊かな心と体を育む教育の推進

児童生徒に、自他の生命や人権を尊重する心、思いやりの心、規範意識や公德心、自然を愛する心など、豊かな心と人生の基盤となる健康でたくましい体を育む教育の推進に努めることが重要である。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな心と感性の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳教育の充実 ・ 奉仕、体験活動等特色ある教育活動の推進 ・ 読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳教育教材「私たちの道徳」の効果的活用 ・ 町内行事やボランティア活動、産業体験活動への積極的参加 ・ 「利尻富士町子ども読書プラン」の推進 (平成 29 年度～令和 3 年度) ・ 「朝の読み聞かせ」及び「読書の時間」を設定 ・ 第 34 回読書感想文コンクールの実施 (応募総数 小学校の部 85 点・中学校の部 60 点) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材の活用により、児童生徒の発達の段階を踏まえた豊かな人間性と社会性を育む道徳教育の推進が図られている。 ・ 地域との交流により、郷土愛に対する子どもたちの意識向上が図られた。 ・ 地域の特性を活かした産業体験等を通して、豊かな心の育成等特色ある教育活動が推進されている。 ・ 豊かな感性や情操教育を育むための読書指導に取り組むことができている。今後も地域の読書ボランティアの活動による小学校低学年への読み聞かせを継続的に実施し、本に親しむ機会づくりに努める必要がある。 ・ 町内全校の児童生徒を対象に実施している。読書の習慣化により、豊かな人間性の育成が図られている。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと教育の充実 ○健やかな体の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・体力、運動能力の向上 ・各種健診の実施及び保健指導の充実 ・食育の推進 ○保護者等への教育費支援 <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助、育英資金の貸与 	<ul style="list-style-type: none"> ・利尻島上空 HAC 遊覧飛行 (町内小学校 6 年生 18 名参加) ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の自校実施 (新型コロナウイルス感染症の影響により全国一斉調査は中止) ・町内、管内中体連部活動 (新型コロナウイルス感染症の影響により中止) ・学校保健安全法に基づく各種健診等の実施 ・へき地児童生徒巡回検診事業 < 専門医耳鼻咽喉科検診 > (新型コロナウイルス感染症の影響により中止) ・栄養教諭の学校配置 (利尻小学校への配置) ・準要保護扶助費の状況 小学校 6 名 中学校 4 名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとに愛着や誇りを持てる人材育成の推進が図られ、今後も継続した取り組みが必要である。 ・調査結果を基に自校分析、把握するとともに、地域行事等と連携し体力・運動能力向上に努めることが重要である。 ・生徒数の減少により、開設種別の検討や働き方改革とのバランスが求められている。 ・児童生徒の健康の保持増進を図るため適切な健康相談及び健康診断が実施されている。今後も適切な指導により、児童生徒の健康管理や疾病の予防・早期発見に努める必要がある。 ・食育指導により、元気な体づくりと食習慣、食生活の大切さを理解させることが図られており、継続実施が必要である。 ・経済的に困窮する児童生徒や保護者への就学援助であり、継続して実施することが必要である。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
	<ul style="list-style-type: none"> 育英資金貸与の状況 継続 4名（大学2名、専門学校1名、高校1名） 新規 4名（大学2名、高校2名） 	<ul style="list-style-type: none"> 学業優秀であるが経済的理由により就学困難な生徒に対する就学資金貸付制度であり、有為な人材育成のため、今後も継続した取り組みが重要である。

③ 信頼される学校づくりの推進

学校・家庭・地域社会が連携して、子どもたちを健やかに育むことが重要であり、学校の教育活動や学校運営の状況を積極的に保護者や地域に情報提供するなど、開かれた学校づくりに努める。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
○特色ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会（コミュニティ・スクール） 鶯泊地区（2回：12月15日、3月4日） 鬼脇地区（2回：11月5日、2月25日） 学校支援地域本部事業の推進 部活動支援（バドミントン、卓球） 授業支援（講師・ボランティア派遣） スキー、総合学習、森林・林業体験学習、本の読み聞かせ、小学校1年生下校指導 	<ul style="list-style-type: none"> 地域が学校運営へ参画し、児童生徒の健全育成に一体となり取り組み、教育活動の充実が図られている。また、学校の要請を受け、部活動や教科補助において、地域ボランティアの協力により、学校支援活動が実施されており、子ども達が体験活動や地域の人との関わりを学んでいく上で重要な事業であり、学校運営の一助にもなっており、今後も継続して取り組む必要がある。
○教職員の資質・能力の向上、健康管理	<ul style="list-style-type: none"> 「利尻富士町立学校における働き方改革アクション・プラン」の推進 （平成30年度～令和2年度） 	<ul style="list-style-type: none"> 学校を取り巻く環境は複雑化、多様化し、学校現場が直面する課題も多種多様であり、教員は様々な教育課題への対応を求められています。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムカードによる時間外勤務状況の把握 ・校務用パソコンソフトの整備、プリンターの増設 ・校務支援システム、イントラグループウェアの導入 ・学校評価の積極的な取り組みの推進 学期末ごとの定期的なアンケート調査 ・校内研修、研究活動への支援 町教育研究会補助金 880 千円 	<p>教員が健康でやりがいを持って働くことができる環境を整え、子どもたちと向き合う時間を確保することは大変重要であり、業務の負担軽減を図る改革や取り組みの継続的な推進、充実が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査等による学校評価の自己点検の充実を図り、課題の整理と改善策に取り組むことが今後も必要である。 ・地域に開かれた学校づくりの一環として、「学校だより」の定期的な発行による情報発信、広報活動に努めている。 ・定期的に校内研修や研究大会を実施しており、調査研究等の充実が図られている。 ・各教科に関する研修はもとより特別支援教育や情報教育に関する研修会、各種専門研修会等への積極的な参加を呼びかけ、教師としての専門的知識や実践的指導力など資質の向上に努めることが必要である。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
	<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止に向けたコンプライアンス確立会議の実施 ・健康管理対策の充実 教職員検診の実施、共済組合による各種福利厚生事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・町教育研究会への継続的な補助により、研修体制の充実が図られるとともに、情報共有や教員相互の専門的知識の向上が図られる。 ・管内不祥事防止の重点の周知及び徹底指導等個人取組の設定や校内共有による、確認や防止策の徹底が重要である。 ・教職員の心身の健康の保持増進は、教育活動を円滑に進める観点から重要であり、今後も継続することが重要である。

④ 安心・安全な教育環境の整備と支援の推進

火災や自然災害（地震・津波）を想定した、シミュレーションや避難訓練の充実を図り、児童生徒に高い防災意識を持たせることが大切である。また、交通事故についての安全教育と不審者や変質者から身を守るための安全教育や防犯対策が極めて重要であり、安心して学べる場と安全な教育環境の整備・充実の確保に鋭意努める。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
○児童生徒の安全確保 <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時を想定した避難訓練等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時を想定した避難訓練の実施 ・1日防災学校の実施（年1校以上） 駕泊中学校（9/28実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校では避難訓練を実施し、火災においては消火器の使い方の体験や自然災害（地震、津波）が起きたときの対応について、危機管理マニュアルに基づいた指導の徹底を行っている。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
<p>○いじめや不登校対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の充実 <p>○学校の施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎及び教職員住宅の維持補修 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全指導等の徹底 青空教室等の開催 ・登下校時の安全確保、防災及び防犯対策 「こども 110 番の家」への登録促進 ・いじめや不登校の未然防止、早期対応 ・各学校の状況に応じた計画的な維持補修 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携強化を図り、事件・事故から子どもたちを守る取り組みを継続して実施することが重要である。 ・児童生徒の安全確保に当っては、情報の共有を図り、常に危機管理意識をもって指導に努めることが大切である。 ・各学校においては、保護者や児童生徒との面談や話し合い、定期的なアンケートを行うなど、問題の早期発見、早期対応、早期解決に向けた取り組みを継続して行っている。 ・いじめや不登校はいつでもどこでも起こることを念頭に、常に複数の目で見守り、教職員全員が児童生徒の担任であるという意識をもって、適切な指導・支援を行う取り組みを充実強化することが、今後も重要である。 ・今後も必要性や緊急度を精査し、計画的な維持補修が必要である。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
・教育教材の備品整備	・義務教育教材等備品整備 ・学校図書の整備	・各学校配分予算内で、一般庁用、義務教育、理科教育、学校図書等の計画的な備品整備が図られており、今後も継続的な整備が必要である。

(2) 社会教育の推進について

社会教育は、文化的教養を高め、人々に心の豊かさや生きがいをもたらすとともに、学校と家庭・地域社会の連携を促し、人との絆を強くし、地域の発展に寄与する大きな役割を果たすものである。子どもたちの育成においては、少子化・核家族化などにより地域における人間関係が希薄となる中、世代・地域間など人とのふれあいの中でコミュニケーション能力を培い「生きる力」を育むために、社会教育活動の一層の充実が必要と考える。

① 生涯学習の推進

趣味や教養、芸術文化、スポーツ、ボランティア活動など多様な学習機会を通じて、子どもから大人まで人と人がふれあい、町民一人ひとりが生きがいをもって生活できるよう、関係団体と連携を図りながら生涯学習を推進する。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
○第3期生涯学習推進計画の策定 (令和3～12年度)	・各分野より委員18名を委嘱し、3回にわたる協議を行なった。協議を進める中で、宗谷教育局社会教育指導班に助力いただきながら、第3期計画を策定した。	・3つの基本目標である「学びあい・ふれあい・活かしあい」を生かした「ふるさとづくり」を達成するための具体的な施策を提示し、社会情勢の変化に合わせ、数年ごとにその評価や目標値の見直しなど検討を加える。

<p>○公民館等社会教育施設の活用</p> <p>・「心の豊かさを実感できる事業」の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南浜獅子神楽子ども教室 教室の開催 8月～10月 10回開催（鬼脇公民館） 小学生 11名参加（昨年9名） 発表会 11月1日（保護者のみ観覧制限） ・ 母の日に贈るカーネーション作り教室 4月27・28日 *中止（昨年7名） ・ 手芸教室 *中止（昨年2名） ・ そば打ち教室 *中止（昨年20名） ・ しめ飾り作り教室 *中止（昨年32名） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鬼脇地区に古くから継承される「南浜獅子神楽」の技術伝承と由来を理解し、実技の体験指導を通して、礼儀作法の基礎を習得、豊かな人間性・健全な精神等社会性を養う活動が行われている。保存会との連携により、伝統文化の継承とふるさと教育としても継続した取り組みが重要である。 ・ 母への感謝と思いやりの心を育むとともに、創作活動の楽しさや喜びを体験でき、今後とも継続して取り組むことが必要である。 ・ 手作りの楽しさ、ぬくもりを感じ、初心者から参加可能な教室であり、世代間交流の場としても大切な事業である。 ・ 年の瀬に、そばを打つ技術と、知識を学ぶことができることから、引き続き開催していくことが必要な事業である。 ・ 正月を迎えるために親子での参加も多く、親子のふれあいの場としても、継続していく必要がある。
--	--	--

<p>○読書活動の推進</p>	<p>・「読み聞かせボランティア」の支援</p> <p>・ブックスタート事業</p>	<p>・読書ボランティアサークル「りっぷの森」による朝読書の時間を利用した読み聞かせ活動（駕泊小1・2年生）。情操教育の推進が図られているが、活動が長期にわたるため、より多くのボランティアが必要である。</p> <p>・乳幼児期から絵本に触れる環境づくりに取り組む事業であり、今後も保健師等との連携を図りながら継続する必要がある。</p>
-----------------	--	---

② 青少年の健全育成

青少年が個性や能力を伸ばし、豊かな人間性や社会性を兼ね備え、心身ともにたくましく育つためには、学校・家庭・地域が一体となり、社会全体で青少年の成長を支え守り育てて行くことが大切である。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
<p>○関係機関、団体との連携</p> <p>○学校支援地域本部事業の推進</p>	<p>・利尻富士町青少年健全育成町民会議等</p> <p>・学校支援活動 *内容について、11ページに掲載</p>	<p>・次代を担う青少年が、自他共にかげがえのない存在であることを認識し、また社会の一員であることを自覚し、自ら進んで社会参加できるよう、家庭・学校・地域が連携して青少年をとりまく環境の整備を行い、心身共に健康で、豊かな未来に希望をもった青少年の育成を推進している。</p> <p>・地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、教員や地域の大人が子どもと向き合う時間の増加、住民等の</p>

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
<p>○心豊かな子どもたちの育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年の体験活動推進事業 「管内ジュニアリーダー研修会」*中止 ・ 利礼3町児童交流事業の推進 *中止 ・ 放課後子ども教室推進事業の推進 (文化団体・社会教育機関・大学等と連携) *夏休みチャレンジ教室 *中止 *冬休みチャレンジ教室 *中止 	<p>学習成果の活用機会の拡充を図るために取り組んでおり、子どもの豊かな成長を地域全体で支えることを目指し、今後も学校教育を支援するための幅広い総合的な取り組みを継続して行う必要がある。</p> <p>また、人材の確保、派遣要請等の調整も含め、学校との連携を強化し、ニーズに応えられるよう支援することが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な体験活動を通して、地域活動やまちづくりに参画するジュニアリーダー養成を目的に実施している。今後も積極的な参加を促し、次代を担う子どもたちを育成することが大切である。 ・ 児童生徒が交歓・交流体験を通して、新たな発見と感動に出会い相互関係と友情を育むなかでリーダーとしての資質を高めるなど、継続して開催することが必要である。 ・ 放課後や週末に子どもたちが、地域社会の中で安全で安心して過ごせる活動拠点(居場所)の提供ができています。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
	<ul style="list-style-type: none"> * 平日放課後子ども教室 <ul style="list-style-type: none"> 鷺泊 56名登録（166日開催） 鬼脇 登録なく未開催 * 書道教室 * 中止 * 水泳教室 * 中止 * バドミントン教室 * 中止 * カルタ教室 * 中止 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加した児童生徒や保護者からの強い要望に応えるため、「平日放課後子ども教室」や「夏休み・冬休みチャレンジ教室」の開催については、各種補助財源の確保と、一層の指導體制の強化・整備を図り継続することが必要な事業である。 ・ 学校の宿題をはじめ、苦手教科の支援、季節によって遊びやスポーツ、工作などを企画しながら安全管理を図り、年間を通して学校教育とは違う環境の中で、体験活動などを通じ、子どもたちの成長を育んでおり、今後も継続実施することが必要である。

③ 文化・芸術活動の推進

芸術・文化は、人々の創造性を広げ、感動や生きる喜びをもたらし、豊かな人生を送る上での大きな力となり地域活性化の基盤となる。また、本町の歴史や伝統を伝える様々な文化財を大切に保護するとともに情報の発信に努める。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
○心の豊かさと情操を高める活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利尻富士町文化協会への助成、活動支援 <ul style="list-style-type: none"> 利尻富士町文化協会補助金 360千円 ・ 劇団四季の利尻公演開催 * 中止 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化協会に加盟している文化芸術関連団体へは、今後も文化活動の活性化を図るため、支援の継続が必要である。 ・ 児童生徒の豊かな感性や個性を育むとともに、芸術文化を理解し大切にすることを養う直接鑑賞機会を持つことが出来ている。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
<p>○文化財の収集・保存・継承</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料の収集・調査の継続 主な収集資料（工藤由太郎氏資料 231 件、個人 20 件（漁具、神社関係、考古資料等） ・出前講座や広報等による広報活動の推進 ・学校授業等支援活動の実施 ・郷土資料館の継続利用（入館者 2149 名） *5 月休館、団体入込なし <p>【利尻富士町の文化遺産を生かした学び交流事業】 （北海道市町村振興協会いきいきふるさと推進事業助成金）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利尻富士町開町 140 周年・町名変更 30 周年記念展示「海を通じた利尻富士町の 140 年」 10 月 1 日～15 日 カルチャーセンター 特別展に伴う展示物の調査・運搬・設置 （駕泊灯台関係文書・旧回転式灯器） 関連事業「おしどまり灯台トーク」、「灯台の絵・写真・詩・俳句など作品募集」 ・展示普及事業 管内巡回展「宗谷の海のみち－海路・港・灯台」 8 月 4 日～23 日 海の駅おしどまり ・利尻学講座、町指定文化財普及事業（ぶらり・オタトマリ）*中止 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も情報発信を図り、町内外にある資料の積極的な調査、収集を行う。 ・一般成人向け講座や公共施設等での展示内容の充実を図り、広報「りしりふじ」への連載など文化財への興味、関心を高める活動を行っていく。 ・文化財は、町の歴史、文化等の正しい理解のため欠くことのできないものであり、且つ、将来の文化の向上発展の基礎をなすものであることを認識し、今後も、その保存が適切に行われることが重要である。 ・北海道遺産「利尻島の漁業遺産群と生活文化」について、利尻しまじゅうエコミュージアム（町産業振興課、利尻町関係機関、文化財保護専門員等）と連携した取り組みを推進する。

④ 健康づくり・スポーツ活動の推進

スポーツは、人格の形成や体力の向上、心身の健康保持増進に寄与するとともに、私たちに多くの夢・感動・楽しみを与え、活力に満ちた社会を形成するうえで大切な役割を果たしている。町民だれもが、それぞれの体力や年齢、目的に応じて気軽にスポーツに楽しむことができる環境整備を図る。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
<p>○生涯スポーツの普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育、スポーツ団体への助成 ・ 各種スポーツ大会、イベントへの支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種団体への助成、活動支援 <ul style="list-style-type: none"> 利尻富士町体育協会補助金 420 千円 スポーツ少年団育成補助金 250 千円 さわやかマラソン大会補助金 250 千円 ・ 主催、後援などを行った主な事業 <ul style="list-style-type: none"> 5月 鷺泊・鬼脇パークゴルフ場オープン 1月中旬 鷺泊・鬼脇スキー場オープン 2月14日 町民スキー大会 *以下、中止 <ul style="list-style-type: none"> 5月31日 第34回教育長杯ミニバレー大会 6月7日 第20回利尻島一周悠遊覧人G 7月6日 わんぱくマラソン大会 2020 鬼脇公民館長杯パークゴルフ大会 8月23日 第32回利尻島一周ふれあいサイクリング 9月6日 さわやか駅伝大会 10月4日 教育長杯パークゴルフ大会 2月6日 鬼脇雪ん子広場 2月13日 りしり寒飲まつり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯スポーツの振興、活動推進、指導者の育成、各スポーツ関係団体との連携を図るため、今後も助成を継続することが必要である。 ・ 各種スポーツ団体において、指導者育成の取り組みが重要であり、研修会等を通じて指導力の強化及び資質向上が必要である。 ・ 年々人口が減少する中、今後も町民のニーズを捉え、各団体と協力、連携しながら生涯スポーツの普及と振興を図り、町民誰もがそれぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、気軽に参加、スポーツに親しむことができる環境整備に努めることが大切である。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題												
<p>○体育施設の適切かつ効率的な施設運営</p>	<p>・利用者数（平成2年4月～令和3年3月）</p> <table border="0"> <tr> <td>総合体育館</td> <td>2,274人（3,950人減）</td> </tr> <tr> <td>パークゴルフ場</td> <td>1,834人（366人減）</td> </tr> <tr> <td>スキー場</td> <td>2,910人（466人減）</td> </tr> <tr> <td>翔武館</td> <td>428人（711人減）</td> </tr> <tr> <td>地域青少年会館</td> <td>661人（1,910人減）</td> </tr> <tr> <td>野球場</td> <td>0人（135人減）</td> </tr> </table> <p>*施設の休館状況</p> <p>4月20日～6月1日</p> <p>総合体育館・翔武館・地域青少年会館</p>	総合体育館	2,274人（3,950人減）	パークゴルフ場	1,834人（366人減）	スキー場	2,910人（466人減）	翔武館	428人（711人減）	地域青少年会館	661人（1,910人減）	野球場	0人（135人減）	<p>・運動を始めるきっかけとして野外活動やスポーツ、レクリエーション活動の取り組みをイベントの合間をみて積極的に取り組んでいく必要がある。</p> <p>・施設の管理委託を含め、利用者の利便性や安全性を考慮しながら、各施設の整備と維持補修等を計画的に行い、適切な運営に努めることが重要である。</p>
総合体育館	2,274人（3,950人減）													
パークゴルフ場	1,834人（366人減）													
スキー場	2,910人（466人減）													
翔武館	428人（711人減）													
地域青少年会館	661人（1,910人減）													
野球場	0人（135人減）													